



宇都宮市立泉が丘小学校 学校だより

◇ 教育目標・合言葉 ◇

「しっかり学ぶ」 「よいよく生かす」
「なかよく生きる」 「元気でがんばる」

令和6年度 第3号 6月17日

発行者 引地 健二



熱く、楽しく、全力で取り組んだ運動会！！

※ HPではカラーでご覧になれます。

5月25日（土）、さわやかな天気の下、今年度の運動会が行われました。

1年生の中島奏空さんが考えてくれた「全力で！！選手と応援、二刀流！！」のスローガンのもと、熱い戦いが繰り広げられ、白熱した思い出に残る運動会になりました。子供たちの体調管理等にご協力いただくとともに、当日温かい声援や拍手を送ってくださった保護者の皆様に心から感謝いたします。また、終了後にも本当にたくさんの皆様（おそらく200人近くは参加して下さったと思います）にお力添えをいただき、素早く後片付けができたことにも心からお礼申し上げます。泉が丘小の保護者の皆様のすばらしさに感激しました。



4チームの代表による選手宣誓



1年生：泉っ子パワーでかけぬけよう



1年生：ダンシング玉入れ



2年生：RUN×RUN泉っ子



2年生：泉っ子ダンスホール



3年生：はさんで・くぐって・めくってGO



3年生：だるまん、おとしちゃだめよ！



4年生：4 ever run



4年生：泉が丘ハリケーン



5年生：やってみなくちゃわからない



5年生：竹取物語2024



6年生：星に駆ける



6年生：泉っ子ソーラン2024



泉が丘小力自慢集結！代表綱引き



泉が丘小足自慢集結！代表リレー女子



泉が丘小足自慢集結！代表リレー男子

◆あいさつボランティア活動スタート！！

泉が丘小学校が、あいさつが響き合う学校になることを願い、今年度「あいさつボランティア」を募集しました。3年生以上に声を掛けましたが、たくさんの子供たちが参加の意思を示してくれています。5月末から毎週水曜日・木曜日の2日間、クラスごとに登校時のあいさつ運動を実施しています。自ら進んで参加しているだけあって、大きな声で登校してくる子供たちにあいさつの声を掛けてくれています。その他にも企画委員会の子供たちが月曜日・金曜日にあいさつ運動をしてくれています。これらの活動をきっかけに、あいさつの輪が広がることを期待しています。



★いじめのない、安心・安全な楽しい学校に★

6月は「いじめゼロ強調月間」 さまざまな取り組みを実施！

6月は「いじめゼロ強調月間」です。「いじめゼロ しない 負けない 許さない」のスローガンのもと、取り組みを進めているところです。主な内容は以下のとおりです。

○いじめゼロスローガンの掲示

○いじめゼロシールの貼付（地域学校園統一）

○いじめに関するアンケートの実施（6月18日）

○教育相談の実施（年2回）

○各学級でのいじめに関する道徳の授業の実施

○縦割り班活動による思いやる気持ちの醸成（友達ふやそう大作戦：6月26日実施）

これらの活動を通して、いじめ対策への取り組みを充実させ、いじめの根絶を目指していきたいと考えております。ご家庭でも話題にしていいただければと思います。

◆いじめ問題で、知っておいてほしい基本的なこと◆ ～お子さんと話し合ってみてください～

① どういう行為が「いじめ」なのか 「いじめだとは思わなかった」をなくすために

一番多いのは、ひやかし・からかい、悪口・脅しなど、言葉によるいじめ。ひやかし・からかいとは、相手が怒ったり、恥ずかしがったりすることをおもしろがって言うこと。悪口や脅しでよくあるのは、キモい、ウザい、ばい菌、死ぬ、殺すぞ、きえろなどですが、そんな言葉を聞くだけでも嫌な気持ちになります。これらにスマホなどが使われることもあります。次に多いのは、わざとぶつかる、叩く、蹴る、物を投げてぶつけるなど、けがをする恐れもある暴力的ないじめです。次は、仲間はずれ、無視です。話しかけない、返事をしない、じっとにらむなどです。他にも、例えば、プロレスごっこをやらせる、誰かの悪口を言わせる、無理におごらせるなどもあります。物を隠す、壊す、物を取り上げて返さない、というのがあります。深刻な場合、犯罪・事件として警察が捜査することもあるのです。



② いじめる側の子の言い分に対して いじめてもよい理由などないことを改めて確認

いじめっ子の言い分は、例えばこうです。「いい子ぶっているから」「生意気だから」「すぐ先生にチクるから」、だからと言っていじめてよいはずはありません。困ったことが起こったら先生に言うのは当たり前です。「約束を破ったから」「嘘をついたから」「自分も迷惑をかけられたから」、そういうことがあったとしてもいじめてよい理由にはなりません。「きまりを守らないから教えてやっているんだ」「みんなを代表して注意してやっているんだ」、教えてあげること、注意してあげる方法が間違っています。「あいつを見ているとイライラする」、それは相手のせいではなく、その人の感じ方の問題です。「冗談だ」「遊びだ」、相手は全然楽しくなく、ただ苦しんでいるだけです。「いじめるのが楽しい」「スカッとする」、気持ちをスカッとさせる方法がいじめとは悲しすぎます。つまり、人をいじめていい理由など決していないのです。

③ いじめる側の子だけが問題？ 気付いた人が当事者意識をもつ

いじめというのは、いじめる人といじめられる人だけの問題でしょうか。中には、そばでおもしろがって見ている人や、「もっとやっちゃえよ」などと言う人がいます。いじめを知っているのに知らんぷりしてしまう人もいます。「ひどいなあ」「かわいそうだなあ」と思っても、「もし自分がいじめられたら」と心配になって、何も言わない、しない人です。いじめられている人から見ると、これらの人たちはみんな、いじめる側の人にはしか見えません。いじめの解決には、気付いた人、見ていた人が、どう行動するかが鍵です。「やめなよ」と勇気をもって言い、仲間の大切な命を守ってほしい。そして、すぐに先生に相談してほしい。学校で話せなければ、家の人に話し、学校に電話する方法もあります。先生に話すことは、いじめに気付いた人の義務、つまり必ずしなければならないことです。中には、自分がしていることがいじめであると気付いていない人もいます。「これはいじめではない、遊びだ」と思っても、されている相手が苦しいこと、辛いことはいじめです。いじめをきちんと解決することは、いじめられている人を守るだけでなく、いじめている人を救ってあげることにもなるのです。



食事マナー重点週間 … 6月10日(月)～6月14日(金)

給食の時間を活用して、食事マナーについて学びました。「いただきます」「ごちそうさま」などのあいさつや正しい配膳の位置やワゴンの片付け方、好き嫌いを減らしていくことやその理由、食事の際のマナーなど、栄養教諭が資料を提示しながらテレビ放送を行ったり、その指導を踏まえて学級担任が声を掛けたりしました。学校で学んだ食事マナーを話題にしていいただき、ご家庭でも実践していただけると幸いです。